

* 思考力・判断力・表現力 をはぐくむために

「書くこと」と関係づけて

*「書くこと」を多くの場面で

一枚の原稿用紙

- ・ 担任との出会い
- ・ ふれあいペアとの出会い
- ・ 運動会の前後
- ・ 日ハム選手との交流
- ・ 滝野宿泊学習
- ・ 10周年記念式典
- ・ 学習発表会の前後
- ・ 卒業式の前後
- ・ 進級に向けて

学習したことを使う
学習したことが次の学習で生きる
生活場面で使える

- ・ 「のどがかわいた」
→感想
- ・ 「生き物は円柱形」
→筆者の考えに対して
- ・ 「百年後のふるさとを守る」
→伝記を読んで
- ・ 「次への一歩」
→委員会の活動報告書
- ・ 「豊かな言葉の使い手になるためには」
→調べたことを文章に
- ・ 「グラフや表を引用して書こう」
→総合的な学習
「STOP!地球温暖化」
- ・ 「わたしたちの〇〇改造提案」
→学校生活や委員会活動から

一冊の本へ
2

*「百年後のふるさとを守る」①

～授業のねらい～

魅力 1

悩みや迷いを
もって生活

魅力 2

人生の危機を
乗り越える→
筆者が感動

人物のすごい
ところを探す
→自分の生き
方を考える

魅力 3

目標が生まれる
生き方を考える

自分で選んだ伝記を読む

*「百年後のふるさとを守る」②

～単元の流れ～

見通しをもつ

- 読書経験を話し合う
- 人物のすごいところを見つけよう

伝記の特徴をとらえる

- 人物・時代・場所・出来事
- 文章構成

詳しく読む

- 気に入った言葉や行動
- 筆者の考え

自分の考えを書く

- 共通教材での学習を生かして

思考力・判断力・表現力

「百年後のふるさとを守る」③

～子どもの作品から～

自分と
関連

「ぼくも、ファールブルのように何かに興味を持って、いろいろな挑戦してみたいと思います。」

好きな
言葉

「わたしは生きた虫を研究しているのです。」という言葉です。なぜなら、ふつう虫を研究している人は、虫をかいぼうして研究しますが、ファールブルはめつたに虫をころさないで、虫をしらべおわると、

すごい
ところ

「さようなら。おしえてくれてありがとうございます。」
「ファールブルのすごい所は、昆虫記という昆虫についての本を、三十年かかって全十巻出版したことだと思います。」（中略）

時代
場所

「ぼくが読んだ伝記はファールブルという人についての伝記です。ファールブルは一八二三年に南フランスのサン・レオンで生まれました。」（中略）

ファールブルを読んで

「百年後のふるさとを守る」④

～子どもの作品から～

「百年後のふるさとを守る」の学習を生かして

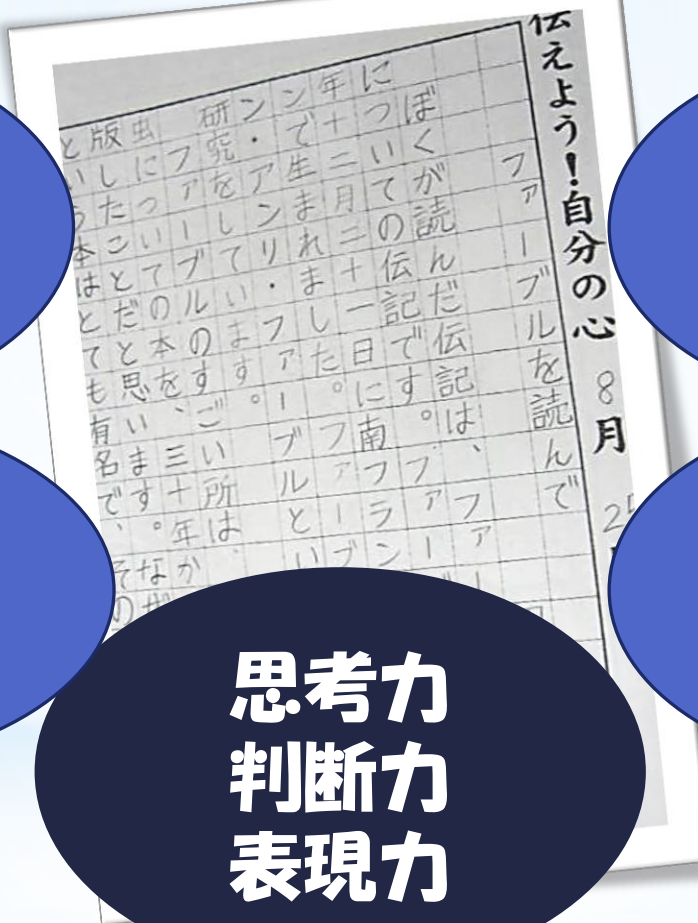
時代背景 から考える

好きな言葉
や行動

人物の生い立ち
や人物関係から
考える

自分と 関係付け

思考力
判断力
表現力



* 次への一歩 活動報告書①

～学習の流れ～

報告書を読み合い、
意見を交流

委員会活動について
グループでまとめる

教科書の例から
構成を学ぶ

思考力・判断力・表現力

* 次への一歩 活動報告書

放送委員会活動報告(四月〜七月)

年間二回目の委員会では、四月に、宮竹 金沢 柳川 坂井 田井中クループが決定した。活動内容、役割、

「活動計画」

四月 めあて・活動内容・役割・クループ決め

六月 クループごとに放送内容決定・放送日決定・台本・カンパ

七月 台本・カンパ作り

「活動報告」

四月 役割 クループ決めについて一回話し合った。
意見がまとまり一回目で決定した。

クループ決定

六月 放送日決定
また台本・カンパもつくった。
クループごとに放送の準備をした。

七月 台本・カンパ
クループごとに放送の準備や台本・カンパづくりをそ

「活動して考えたこと」

始めて放送の仕事をして大変だったけれどよかったです。
よく大変だったのは放送内容を考えることです。
よかったです。全校に放送をながせたことです。

「今後の活動」

二学期からは委員会の仕事におくれないうように活動することです。
二学期も放送の仕事は今まで以上にがんばる。

* 次への一歩 活動報告書

保健体育給食委員会の活動報告書 (四月〜七月) 保健体育給食委員会 水屋山田木川柴田小校

六月の全校朝会で、全校なわとびひろうや、学年別のスポーツ大会を実行する計画を立て、グループ別に分かれて、日時などの詳細を決めた。

〈活動計画〉

四月

めあて決め。やりたいきがくをしほり、きかくごとに分かれて活動した。

五月

あるグループは、中休みに集まり、日時などを決めた。

六月

あいさつ運動やグループごとに分かれて、細かい内容を相談して決めた。

「活動報告」

四月

担当する企画やりたい企画を決め、企画ごとに活動。

めあて(みんなにも、と保健体育給食の大切な事を、知ってもらい、そのことに対して関心をもってもらい、心をかけてさぎょうを進めた。思ったように進まず、5月・6月に計画、日時決定をひきのばすことになった。



五月

中休みに集まって、企画の学年の先生に聞き、日時をき

企画ごとに集まる日を決め、中休みに相談して詳しい企画の内容やがいとうする学年の先生に中休みなど企画を実行する時間帯やいかにやるかを伝え、その日に他の予定がないか聞き、日をずらしたりした。

六月
あいさつ運動やグループ活動(この計画)

おもにグループごとに分かれて行動した。あいさつ運動についても相談した。

感想コーナー

水屋杏希

わががらないことがあったりしたけど、保健体育給食委員会では、楽しいです。

山田勇太

書き言葉、えたり、計画や企画について、特別に難しかったです。

木川月

かくのはむずがしかったけど、保健体育給食委員会のおかげで、

柴田ゆあ

こういう事をみんなに、書いて、ちていけな、う人がや。ちていけな、分がりました。保健体育委員会の活動が、みんなに、

次への一步 活動報告書②

～子どもの活動から～



その後の委員会活動
の活性化



学年での活動の
活性化

* 豊かな言葉の使い手になる ためには① ～学習の流れ～

「豊かな言葉の使い手」のイメージから自分の課題を決める。



課題について調べたことをノートに、大体の内容を画用紙にまとめる。



まとめたことをもとにグループで討論する。



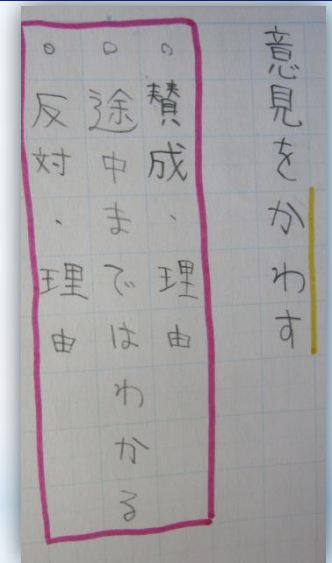
討論の仕方について話し合う。

思考力・判断力・表現力

豊かな言葉の使い手になる ためには② ～子どもの活動～

- ・ 敬語を正しく使いたい
- ・ 人を傷つける言葉を使わない
- ・ 人に伝わる話し方を

普段の自分の話し方をよりよいものに変えたい



インターネットや本の他に校長先生や家の人にインタビューをして調べる

**委員会で実際に使う
→「丁寧でいいね」と言われた！**

*まとめ

誰に 何のために書くか

- 友達、将来の自分、親、教師など相手がいると考えることが増える。
- 相手からの返信がさらに考えるきっかけになる。

学習したことを実感

- 学習したことを使う場を作ることで、主体的に考え、「わかった」「できた」という実感が生まれる。
- 「どうやるのかな」という方法を意識する姿が生まれる。

思考力・判断力・表現力との関連

- 思考力などの育成につながる学習活動、言語活動になっているかを吟味することが必要。

北海道国語教育連盟 冬の研究交流学習会

* 思考力・判断力・表現力をはぐくむために
「書くこと」と関係づけて

札幌市立百合が原小学校 鈴木 浩司

ご清聴ありがとうございました。